

2023
BUSINESS REPORT

HAZAMA ANDO CORPORATION

2024年3月期
第2四半期報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで



株式会社 安藤・間

(呼称：安藤ハザマ)

証券コード：1719

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの2024年3月期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の事業の状況についてご報告申し上げます。

安藤ハザマは、取締役会の監督機能のより一層の強化と業務執行の機動性の向上により、コーポレートガバナンスのさらなる充実と持続的な企業価値向上を図るため、本年6月29日開催の定時株主総会をもちまして監査等委員会設置会社へ移行いたしました。そして、新たなガバナンス体制のもと、長期ビジョン「安藤ハザマVISION2030」に掲げる4つの価値創造(お客様価値・株主価値・環境価値・従業員価値)に向けて、グループ一丸となって変革に取り組んでおります。

また、本年5月に策定しました「中期経営計画2025」では、「企業価値向上」と「会社の魅力向上」を基本方針に掲げ、各種重点施策の取り組みを進めております。株主の皆様への還元につきましては、計画最終年度の総還元性向70%以上を目標としており、今回の中間配当は期初予想どおり、1株あたり30円とさせていただきます。

これからも当社グループは、会社と社員が価値を共有しながら、社会から信頼され、社会と共に成長していく企業グループを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 国谷 一彦

目次

株主の皆様へ.....	1	経営指標.....	6
財務ハイライト.....	2	当社の概況と今後について.....	6
事業別の概況.....	3	TOPICS.....	7
連結財務諸表(要約).....	5	株主様アンケート結果のご報告.....	8
		会社の概況.....	9
		役員・株式の状況.....	10
		株主メモ.....	11

表紙：管理棟本館建設工事及びその付帯工事

発注者：株式会社SUBARU

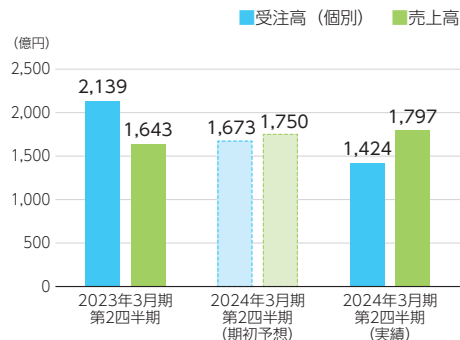
工事場所：栃木県

財務ハイライト

受注高・売上高

個別受注高は、前年同期比で715億円減少（△33.4%）、期初予想を248億円下回る（△14.9%）1,424億円となりました。

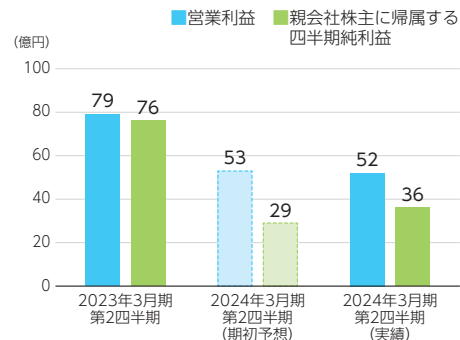
売上高は、国内・海外ともに工事が順調に進捗したことにより、前年同期比で154億円増加（+9.4%）、期初予想を47億円上回る（+2.7%）1,797億円となりました。



利益

営業利益は、完成工事総利益が減少したことなどにより、前年同期比で27億円減少（△34.2%）、期初予想を0.6億円下回る（△1.3%）52億円となりました。

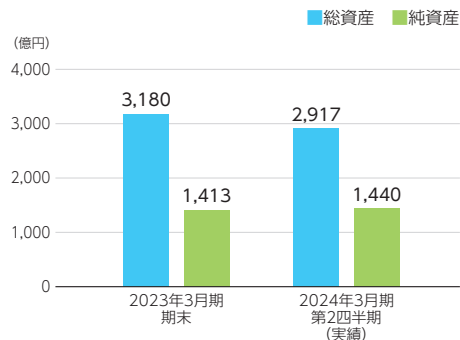
また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比で39億円減少（△52.1%）、期初予想を7億円上回る（+26.5%）36億円となりました。



財政状態

資産は、現金預金などの減少により、前期末比で262億円減少し2,917億円となりました。負債は、工事未払金などの減少により、前期末比で290億円減少し1,476億円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより、前期末比で27億円増加し1,440億円となり、自己資本比率は49.1%となりました。



事業別の概況

土木事業

受注高 **450**億円
 売上高 **673**億円
 営業利益 **65**億円

受注高

受注高は、前年同期比で13億円増加（+3.0%）の450億円となりました。事業別の内訳は、官公庁73.6%、民間26.4%であり、海外工事は全体の7.0%です。

（注）受注高等は個別ベースで記載しています。

<主な受注工事>

発注者名	工事名称
国土交通省 関東地方整備局	R5霞ヶ浦導水石岡トンネル（第3工区） 新設工事
中日本高速道路株式会社	東海北陸自動車道（4車線化） 椿原トンネル工事
東日本高速道路株式会社	東北自動車道 大白沢川橋床版取替工事

売上高・営業利益

売上高は、前年同期比で62億円増加（+10.2%）の673億円となりました。営業利益は、前年同期比で4億円減少（△6.9%）の65億円となりました。

<主な完成工事>

発注者名	工事名称
独立行政法人鉄道建設・ 運輸施設整備支援機構	相鉄・東急直通線、新綱島駅他
国土交通省 近畿地方整備局	笠波峠除雪拡幅笠波トンネル工事
三重県	北勢沿岸流域下水道（南部処理区） 南部浄化センター第2期事業水処理施設 建設工事



相鉄・東急直通線、新綱島駅他
 発注者：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構



笠波峠除雪拡幅笠波トンネル工事
 発注者：国土交通省近畿地方整備局

事業別の概況

建築事業

受注高	973億円
売上高	963億円
営業利益	16億円

受注高

受注高は、前年同期比で728億円減少（△42.8%）の973億円となりました。事業別の内訳は、官公庁3.0%、民間97.0%であり、海外工事は全体の18.2%です。

（注）受注高等は個別ベースで記載しています。

<主な受注工事>

発注者名	工事名称
株式会社クボタ	株式会社クボタ 枚方製造所 T棟新築工事（1～9）
太陽誘電株式会社	太陽誘電㈱高崎GCオフィス棟 新築工事

売上高・営業利益

売上高は、前年同期比で96億円増加（+11.2%）の963億円となりました。営業利益は、前年同期比で18億円減少（△53.3%）の16億円となりました。

<主な完成工事>

発注者名	工事名称
株式会社SUBARU	管理棟本館建設工事及びその付帯工事
学校法人早稲田高等学校	早稲田中学校・高等学校 3号館・興風館建替工事
飯塚市	文化会館大規模改修工事



早稲田中学校・高等学校 3号館・興風館建替工事
発注者：学校法人早稲田高等学校



文化会館大規模改修工事
発注者：飯塚市

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	前期末 (2023年3月31日)	当第2四半期末 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産	245,379	213,941
固定資産	72,634	77,778
有形固定資産	31,355	34,176
無形固定資産	1,610	1,552
投資その他の資産	39,668	42,049
資産合計	318,014	291,720
負債の部		
流動負債	164,217	133,542
固定負債	12,472	14,132
負債合計	176,689	147,674
純資産の部		
株主資本	135,614	136,252
資本金	17,006	17,006
資本剰余金	17,058	17,678
利益剰余金	122,656	123,167
自己株式	△21,106	△21,600
その他の包括利益累計額	4,871	6,895
非支配株主持分	839	897
純資産合計	141,324	144,045
負債純資産合計	318,014	291,720

連結損益計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

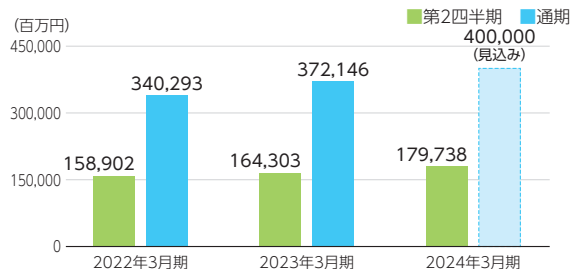
科 目	前第2四半期累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月30日)
売上高	164,303	179,738
売上原価	145,438	162,471
売上総利益	18,864	17,266
販売費及び一般管理費	10,918	12,036
営業利益	7,946	5,230
営業外収益	1,227	919
営業外費用	435	533
経常利益	8,737	5,617
特別利益	3,100	54
特別損失	493	154
税金等調整前四半期純利益	11,345	5,517
法人税等	3,687	1,844
四半期純利益	7,657	3,672
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,664	3,667

連結キャッシュ・フロー計算書

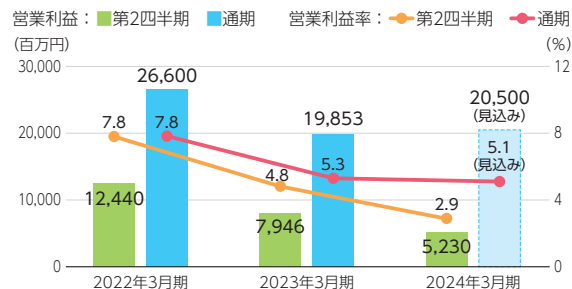
(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	前第2四半期累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△9,426	△30,197
投資活動による キャッシュ・フロー	△519	△3,862
財務活動による キャッシュ・フロー	△7,999	△1,737
現金及び現金同等物に 係る換算差額	926	652
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△17,019	△35,144
現金及び現金同等物の 期首残高	64,739	74,326
現金及び現金同等物の 四半期末残高	47,720	39,181

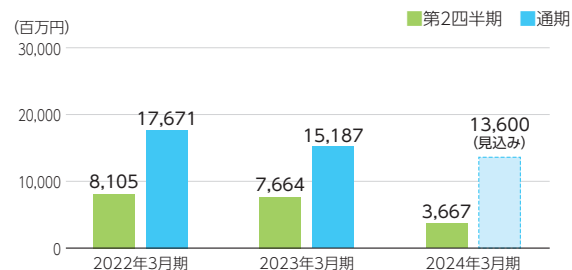
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済社会活動の正常化が進み、緩やかに回復してきました。今後についても、雇用・所得環境が改善する下で回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締めに伴う影響など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価・エネルギー価格の上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

建設業界におきましては、政府建設投資は堅調に推移し、民間建設投資は底堅く推移しました。一方で、資材価格等の動向に注視が必要な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、変化が激しく先行き不透明な今の時代において持続的な成長を実現していくため、長期ビジョン「安藤ハザマVISION2030」に掲げる4つの価値（「お客様価値」「株主価値」「環境価値」「従業員価値」）の創造に向け、本年5月に「中期経営計画2025」を策定いたしました。計画が始動した当上半期は、土木・建築ともに強みのある分野において技術力を生かした積極的な営業活動を展開し、一定の受注を確保しました。また、生産プロセスの改革推進に加えて、人的資本価値の最大化に向け、報酬水準の見直しを含めた人事制度改定、資格取得支援や研修の拡充など、各種施策を順次進めております。

同時に、サステナビリティ経営のさらなる拡充に向け、ガバナンス強化と業務執行の機動性向上を目的に監査等委員会設置会社へ移行するとともに、ESG重要課題を長期的かつ総合的な視点で審議・検討する「サステナビリティ委員会」を取締役会の諮問機関として設置し、環境、人的資本戦略、サプライチェーン・マネジメント、人権等への取り組みを強化しております。

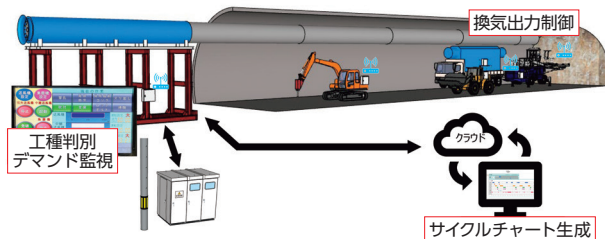
これからも当社グループは、ものづくりを通じてサステナブルな社会の実現に貢献していくとともに、社会と共に成長し続ける企業グループを目指し、全てのステークホルダーにおける企業価値の向上に努めてまいります。

山岳トンネル工事の施工効率化と省エネ化を図る「Hi-Res」の展開

当社は山岳トンネル工事の生産性を向上させる施工管理システム「Hi-Res」（ハイレス）を菅機械工業株式会社と共同開発しました。Hi-Resはトンネル現場の重機・プラントの稼働状況を把握し、作業工種を判別することで施工効率を改善するとともに省エネ化を図ります。その機能として「トンネル掘削の実績サイクルチャート自動生成」「作業工種に応じた最適な換気制御」「デマンド監視と使用電力量制御」などを備えています。

掘削から吹付け・ロックボルトまでの一連作業を繰り返すトンネル工事において、作業サイクルの無理・無駄の排除が生産性向上につながります。Hi-Resでは、既存の日報等よりも高精度のサイクルタイムチャートが自動生成され、各サイクルにおける余裕人員の見直しなどに役立ちます。また、作業内容に合わせた送風機・集塵機の最適な換気制御や、使用電力量の監視による換気設備やその他設備の電力量を抑制します。

すでに複数現場へ展開し、当社実績にて最大68%、平均61%の換気設備消費電力を削減しています。現在、工事におけるCO₂発生量の演算や、Web進捗管理表、斜線工程表の自動生成などの機能拡充を進めており、今後も山岳トンネル工事の環境負荷低減と職員・作業員の業務省力化・効率化を促進していきます。



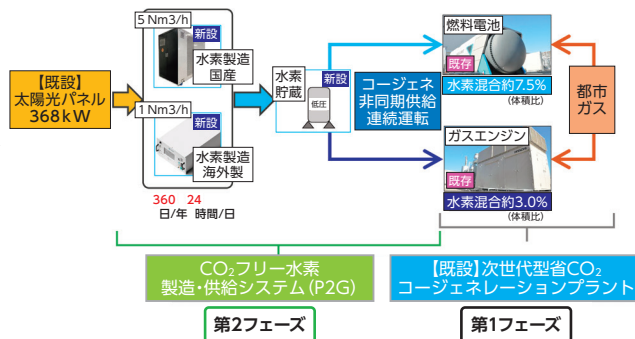
システム全体図

CO₂フリー水素の活用に向けて次世代エネルギープロジェクト第2フェーズに着手

当社は、日本が抱えるエネルギー問題の解決に向けた取り組みの一つとして、2020年4月から技術研究所（茨城県つくば市）において「安藤ハザマ 次世代エネルギープロジェクト」を実施しています。第1フェーズでは水素利用が可能な次世代型省CO₂コージェネレーションプラントを設置し、新たな統合エネルギーマネジメントシステムの構築・実証を進めてきました。

2023年10月からの第2フェーズでは、新たにCO₂フリー水素製造・供給システムを構築し、第1フェーズで整備したコージェネレーションの燃料として自ら製造した水素を供給し、得られるエネルギーのさらなる省CO₂化を目指します。さらに、既存の「広域的省CO₂マネジメントシステム」を利用して、CO₂フリー水素を含む燃料で得られるエネルギーを複数・遠隔建物へ融通します。

CO₂フリー水素の製造と活用という確実な一歩を社会に示すことで、来るべき水素社会における分散型エネルギーシステムの在り方を先導することを目指します。



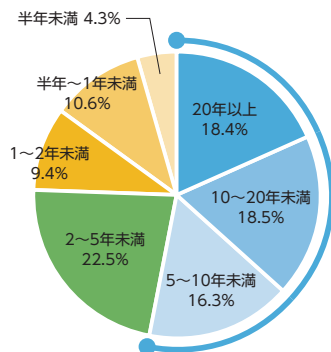
プロジェクトの概要

株主様アンケート結果のご報告

2022年12月に初めてアンケートを実施し、多くの株主様から貴重なご意見をいただきました。ご協力賜り、誠にありがとうございました。以下に結果の一部をご報告いたします。頂戴しましたご意見は今後の経営やIR活動に活用させていただきます。なお、アンケートは、株主の皆様との貴重なコミュニケーションの機会の一つとして、今後も実施してまいりますので、よろしくお願いいたします。

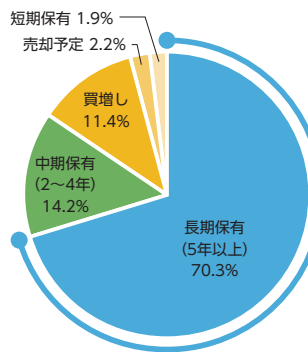
[実施期間：2022年12月6日～30日 調査対象：全株主様 25,983名 回答者数 2,617名 回答率 10.1%]

Q.当社株式の保有期間



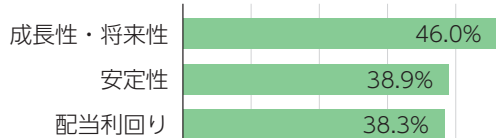
約53%の株主に、5年以上の長期にわたり保有いただいています。

Q.今後の保有方針

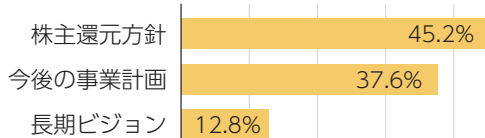


70%を超える株主様が長期保有の方針としています。

Q.当社株式の購入理由と重視した点は？（上位3つ）



Q.当社についてもっと知りたい情報は？（上位3つ）



当社から皆様へ

- 当社ウェブサイト「中期経営計画2025」の資料で、株主還元方針等の情報について説明していますので、ぜひご一読ください。
[当社ウェブサイト（長期ビジョン・中期経営計画）](https://www.ad-hzm.co.jp/ir/plan/)
- 当社の事業や取り組みは、当社ウェブサイトにて、コーポレートレポートとサステナビリティレポートでご覧いただけます。今後、さまざまな情報をタイムリーに発信していきます。
[当社ウェブサイト（コーポレートレポート等）](https://www.ad-hzm.co.jp/sustainability/report_2023/)



商号 株式会社 安藤・間 (呼称：安藤ハザマ)
(英文名：HAZAMA ANDO CORPORATION)

設立 2003年10月1日

資本金 17,006,123,275円

- 目的**
1. 土木建築その他工事の調査、測量、企画、設計、施工、監理、技術指導の請負、受託およびコンサルティング業務
 2. 工事用品および機械器具の供給
 3. 不動産取引および不動産、有価証券の保有ならびに利用
 4. 土壌の調査・浄化工事の請負、廃棄物の収集、処理、処分等の事業およびこれらに関するコンサルティング業務
 5. 地域開発、都市開発および環境整備等に関する企画、設計ならびにコンサルティング業務
 6. 発電および電気、熱等エネルギーの供給事業およびこれらに関するコンサルティング業務
 7. 建築の請負を伴う不動産関連の特別目的会社への出資および出資持分の売買、ならびに信託受益権の保有および販売
 8. コンピュータの利用に関するソフトウェア、工業所有権およびノウハウの取得、開発、実施許諾ならびに販売
 9. 建物の総合管理および警備業務
 10. 前各号に付帯する事業
 11. 前各号に関連する事業を他と共同経営しまたは他の事業に投資すること

当社のウェブサイトもご覧ください

当社ウェブサイトでは、「株主・投資家情報」をはじめ、さまざまなコンテンツを掲載しております。ぜひご覧ください。

<https://www.ad-hzm.co.jp/>



ネットワーク

●国内拠点

本社 〒105-7360 東京都港区東新橋1-9-1
☎03-3575-6001

東京支店 〒105-7360 東京都港区東新橋1-9-1
☎03-3575-6170

関東支店 〒105-7360 東京都港区東新橋1-9-1
☎03-3575-6180

札幌支店 〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西8-1-1
☎011-272-6500

東北支店 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-3-1
☎022-266-8111

北陸支店 〒950-0082 新潟県新潟市中央区東万代町1-22
☎025-243-5577

静岡支店 〒420-8612 静岡県静岡市葵区追手町2-12
☎054-255-3431

名古屋支店 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-8-20
☎052-211-4151

大阪支店 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島6-2-6
☎06-6453-2190

四国支店 〒760-0040 香川県高松市片原町11-1
☎087-826-0826

広島支店 〒730-0051 広島県広島市中区大手町5-3-18
☎082-244-1241

九州支店 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名1-8-10
☎092-724-1131

技術研究所 〒305-0822 茨城県つくば市荻間515-1
☎029-858-8800

●海外拠点

タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、ミャンマー、スリランカ、ラオス、カンボジア、ネパール、トルコ、メキシコ、アメリカ、パナマ、ホンジュラス

役員・株式の状況

取締役

代表取締役社長	国谷一彦
取締役専務執行役員 建設本部長	加藤一郎
取締役常務執行役員 営業本部長	小松健
社外取締役	藤田正美
社外取締役	北川真理子
社外取締役	桑山三恵子
取締役(監査等委員)	宮森伸也
社外取締役(監査等委員)	望月晴文
社外取締役(監査等委員)	川口理恵
社外取締役(監査等委員)	伊藤勝彦

(注) 1. 取締役 藤田正美氏、北川真理子氏、桑山三恵子氏、望月晴文氏、川口理恵氏および伊藤勝彦氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

2. 当社は、取締役 藤田正美氏、北川真理子氏、桑山三恵子氏、望月晴文氏、川口理恵氏および伊藤勝彦氏が株式会社東京証券取引所の「上場管理等に関するガイドラインⅢ5.(3)の2」に定める独立性基準に基づき、その独立性が確保され、一般株主と利益相反の生じるおそれがないと判断し、同取引所の定めに基づく独立役員として指定し、届け出ております。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

●発行済株式総数.....181,021,197株
(自己株式20,904,598株を含む)

●1単元の株式数.....100株

●株主総数.....33,177名

●大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	24,874	15.54
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE UKUC UCITS CLIENTS NON LENDING 10PCT T R E A T Y A C C O U N T	7,867	4.91
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,815	4.88
安藤ハザマグループ取引先持株会	7,269	4.54
MSIP CLIENT SECURITIES	5,512	3.44
株式会社みずほ銀行	4,476	2.80
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	3,410	2.13
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	3,111	1.94
朝日生命保険相互会社	2,616	1.63
CEPLUX-THE JUPITER GLOBAL FUND SICAV	2,613	1.63

(注) 1. 当社は、自己株式20,904,598株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。

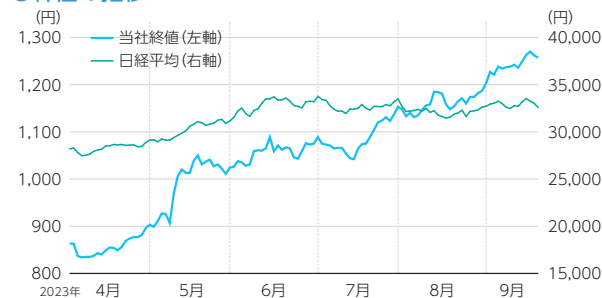
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数には、役員報酬BIP信託口の株式数(1,351,411株)および株式付与ESOP信託口の株式数(2,145,117株)は含まれておりません。

●所有者別株式数分布状況



●株価の推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日（期末配当） 9月30日（中間配当）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 https://www.tr.mufg.jp/daikou/ 電話 0120-232-711（通話料無料。オペレーター対応） 受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9時～17時 （郵送先）〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場（証券コード 1719）
公告の方法	電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載します。 公告掲載URL https://www.ad-hzm.co.jp/ir/announce/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お問い合わせ窓口	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 届出住所等の変更届 ・ 配当金の振込指定 ・ 単元未満株式の買取・買増請求 ・ その他株式に関するお問い合わせ 	証券会社に口座をお持ちの株主様	口座を開設されている証券会社 ※株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
	証券会社に口座をお持ちでなく、特別口座で株式を保有されている株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ※電話番号などは下記「特別口座に関するお問い合わせ窓口」欄をご覧ください。

特別口座に関するお問い合わせ窓口

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	電話 0120-232-711（通話料無料。オペレーター対応） 受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9時～17時 （郵送先）〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 ※三菱UFJ信託銀行の本店・各支店でもお取り次ぎいたします。 ※各種お手続き用紙のご請求は、以下のウェブサイトでも24時間受け付けております。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/
------------------------	--



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。